

OUTLINE 2024

Mie University Graduate School of Medicine / Faculty of Medicine and Mie University Hospital Outline

三重大学大学院 医学系研究科・医学部

三重大学医学部附属病院

概要 2024



基本理念

Mission and Core Principles

三重大学医学部

- 基本理念
- 確固たる使命感と倫理観をもつ医療人を育成し、
 - 豊かな創造力と研究能力を養い、
 - 人類の健康と福祉の向上につとめ、地域および国際社会に貢献する。

三重大学医学部附属病院

- 基本理念
- 本院は、信頼と安心が得られる地域医療の拠点として、
 - 未来を拓く診療・研究を推進し、
 - 人間性豊かな優れた医療人を育成する。
- 基本方針
- 地域の拠点病院として、安全で質の高い先進的な医療を提供します。
 - 臨床研修機関として、次代の担い手となる人間性豊かな人材を育成します。
 - 新しい医療を目指す臨床研究を推進し、社会に貢献します。
 - 医療・医育機関との連携・支援を推進し、地域医療の発展に尽くします。
 - 疾病の予防を目指した教育・研究を推進します。
 - 上記の基本方針を推進するために、健全で成長性のある病院経営を行います。



医学教育分野別評価
適合認定証



公益財団法人 日本医療
機能評価機構認定証



がんゲノム医療拠点病院
指定書



小児がん
拠点病院指定書



特定行為研修
指定研修機関指定証

Contents

基本理念	01
ご挨拶	02
沿革	04
組織図	06
職員・学生について	
役職員	08
・大学院医学系研究科・医学部	
・医学部附属病院	
職員現員	11
歴代研究科長等	11
学生	12
・医学部	
・大学院医学系研究科	
大学院医学系研究科・医学部について	
図書及び雑誌	14
国際交流	14
解剖体数	15
科学研究費助成事業採択状況	15
外部資金受入状況	15
医学部附属病院について	
病院実績	16
診療等実績	18
治験・自主研究実施件数	20
医療機関等の指定状況等	21
病院各階案内図	26
敷地及び建物面積	28
建物配置図	29
所在地・アクセス	30

ご挨拶

Greetings

三重大学大学院医学系研究科・医学部 医学系研究科長・医学部長 ご挨拶

三重大学医学部医学科は1944年4月に開校した三重県立医学専門学校が前身であり、1972年の国立移管を経て、2024年4月で開校80周年を迎えます。主に大学院教育を担う医学系研究科と学部教育を担う医学部に分けられ、医学部は医学科と看護学科から構成されています。また、医学部には県内唯一の特定機能病院である附属病院が設置されています。医学科は三重県における唯一の医師養成機関であり、看護学科は三重県における看護師、助産師、保健師養成の高等教育機関として、附属病院は高度先進医療や臨床研究の拠点であるとともに医学科、看護学科学士の教育病院として、その役割を果たしています。「確固たる使命感と倫理観をもつ医療人を育成し、豊かな想像力と研究能力を養い、人類の健康と福祉の向上につとめ、地域および国際社会に貢献する」を目標としています。

2004年大学改革で独立法人化してから20年を迎えようとしていますが、2022年度からの第4期中期目標期間も2年目に入り、益々大学の独立性、独創性が問われる時代となっています。文部科学省から配分される運営費交付金は毎年約1.2%がカットされる中、教育研究の成果による重点支援や機能強化経費による再配分により、その真価が問われています。それには徹底した教育改革、世界の知をリードするイノベーション、地域中核としての地方創生などを達成する必要があります。医学系研究科長としての役割は教育、研究、医療、社会貢献を行うことであり、医学科、看護科、附属病院が一丸となって活動するために、リーダーシップを発揮し、全ての力を結束して優れた教育、卓越した研究、最先端の医療及び地域および国際

社会への貢献に導く使命があると考えます。

三重大学医学部は医師、看護師、研究者などの専門職を育成する場であり、優れた教育プログラムを提供いたします。医学や健康科学の研究を推進し、新たな知識や技術の開発に貢献するとともに、先端技術の導入や新たな治療法の開発を通じて医学の進歩に重要な役割を担います。また、三重大学医学部は地域社会と密接な関係を築き、地域のニーズに応えることを重視します。国際社会においても国際的な学術交流や国際協力プロジェクトを通じて、世界の健康向上に寄与します。

以上のように三重大学大学院医学系研究科・医学部は、教職員と学生とが一丸となり、未来につながる高水準の医学教育と先端的医学研究を推進するとともに、地域社会や国際社会に貢献し、医学の発展と社会の健康と幸福を向上させることを目指したいと考えています。



医学系研究科長・医学部長

平山 雅浩

Hirayama Masahiro

三重大学医学部附属病院 病院長 ご挨拶

三重大学医学部附属病院は、1876年(明治9年)に三重県医学校兼治療所が、安濃郡塔世村(現在の津市栄町)に設置されたことに端を発します。戦時中の1944年(昭和19年)、三重県立医学専門学校の設立に合わせて同附属病院となりました。その後、1972年(昭和47年)には県立大学医学部から国立移管、翌年に現在の場所(津市江戸橋)に移転いたしました。2012年(平成24年)1月に、屋上にヘリポートを備えた12階建ての新病棟が稼働し、2015年(平成27年)5月に新外来・診療棟が開院し、さらに2018年(平成30年)3月に駐車場・外構工事も終了して、現在の本院が完成しました。

本院は、厚生労働省が指定した全国87病院のうち、三重県で唯一の「特定機能病院」です。1)人間性豊かな優れた医師や医療者の育成、2)最先端の医療や医療技術の開発、そして3)「最後の砦」となる重症患者さんに対する医療を展開しております。三重大学病院は、一般病床655床、精神科病床30床、救急救命センター集中治療室(ICU)8床、病棟ICU16床、高度治療室(HCU)4床、新生児集中治療室(NICU)12床、母体胎児集中治療室(MFICU)6床を有しており、高度急性期・急性期医療を中心に行っています。年間約1万8千人の入院患者さん、約33万人の外来患者さんを受け入れています。手術室は16室あり、内視鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」サージカルシステムを最新機種SP含む3台備え、2023年度は年間7,924件の手術を行っております。

また、本院は都道府県がん診療連携拠点病院、小児がん拠点病院およびがんゲノム拠点病院であり、最先端のがん診療を行ってまいりましたが、2022年11月から総合がん

治療センターを設立し、本院が県のがんセンター的な役割を果たすべく、病院全体で取り組んでいます。さらに、2024年4月1日には、長年の救急実績が評価され、県内で初めての高度救命救急センターの指定を受けました。一方地域の救急問題の解決に向け、支援を強化するなど、県民・地域住民の方が安心して暮らせるよう、体制を整えております。

その他の高度先端医療として、循環器病に対する経カテーテル動脈弁留置術(TAVI)、経皮的僧帽弁クリップ術MitraClip、脳卒中のカテーテル治療、人工関節手術のナビゲーションシステムによる治療、CAR-T療法など、各診療科はわが国の第一線の診療を展開しています。

今後も患者さん、新しい時代のニーズに応えられるような病院となるよう、努力してまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



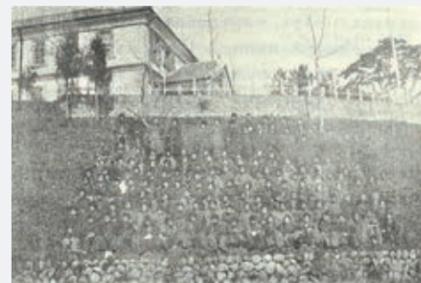
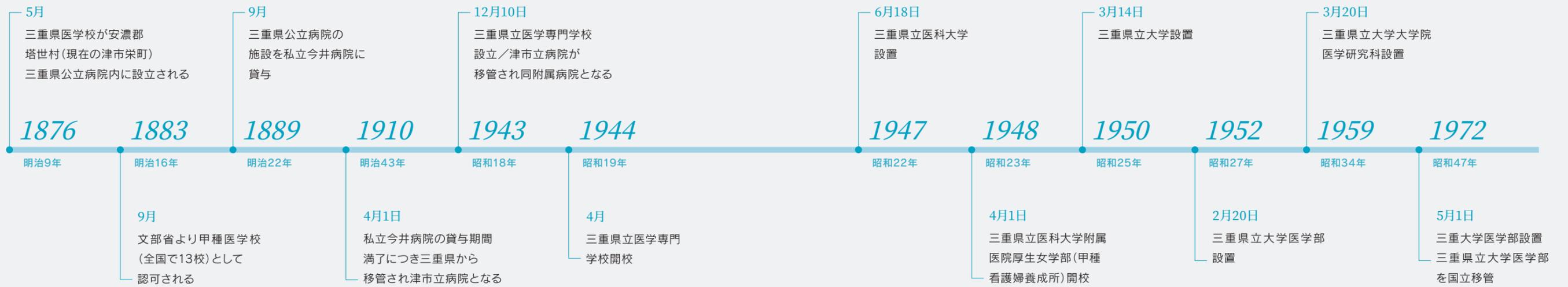
病院長

池田 智明

Ikeda Tomoaki

沿革

History



三重県甲種医学校(津市栄町)



医学専門学校附属病院本館(現・県立美術館周辺)
※戦時中:黒塗り



三重県立大学 大谷町校舎



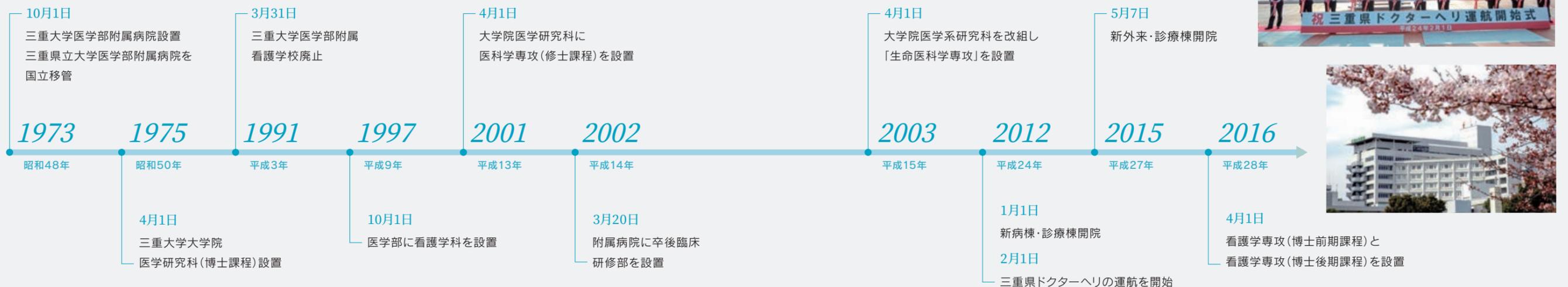
医学基礎校舎(津市栄町安濃川(塔世橋)周辺)



旧 医学部附属病院(津市江戸橋)



医学部看護学科校舎



組織図

Organization Chart

A 大学院医学系研究科

A-1 博士課程/生命医科学専攻

A-2 修士課程/医科学専攻

A-3 博士前期課程・後期課程/看護学専攻

Grid of research fields under A-1 and A-2, including Basic Medical Science, Clinical Medical Science, and various sub-fields like Immunology, Microbiology, and Cell Biology.

Grid of research fields under A-3, including Nursing Science, Practical Nursing, and Broad Nursing, with sub-fields like Geriatric Nursing and Community Nursing.

Grid of research fields under A, including Graduate Exchange Lectures, Attached Lectures, and Next-Generation Cancer Professional Training.

※についてはA-1及びA-2に教育研究分野を設置

B 医学部

医学科

看護学科

Grid of research fields under B, including Medical and Nursing Education Centers, Attached Lectures, and various clinical research areas.

C 医学部附属病院

C-1 診療部門

C-2 中央部門

C-3 支援部門

薬剤部

看護部

総合がん治療センター

Grid of departments under C-1, including General Medicine, Surgery, Psychiatry, and various specialized clinics.

Grid of departments under C-2, including Laboratory, Blood Cell Therapy, Blood Purification, and various support centers.

Grid of departments under C-3, including Medical Information Management, Clinical Training, and various support centers.

D 医学・病院管理部

Grid of departments under D, including General Affairs, Management, Academic Affairs, Medical Affairs, and Medical Support.

(令和6年6月1日現在)

職員・学生について

About the Staff and Students

役員 | Faculty and Administrative Office

(令和6年5月1日現在)

[大学院医学系研究科・医学部]

医学系研究科長(兼)	平山 雅浩
教育研究評議会評議員(兼)	野阪 哲哉
副研究科長(兼)	鈴木 秀謙
副研究科長(兼)	山崎 英俊

医学部長(兼)	平山 雅浩
看護学専攻長(兼)	榎屋 正浩
看護学科長(兼)	榎屋 正浩

[大学院医学系研究科]

基礎医学系講座(教育研究分野)

組織学・細胞生物学	教授	後藤 英仁	免疫学	教授	(野阪 哲哉)
発生再生医学	教授	成田 正明	医動物・感染医学	教授	油田 正夫
生化学	教授	竹本 研	環境分子医学	教授	(小谷 泰一)
幹細胞発生学	教授	山崎 英俊	公衆衛生・産業医学	教授	神谷 元
分子生理学	教授	坂東 泰子	法医学	教授	小谷 泰一
修復再生病理学	教授	今中 恭子	医学医療教育学	教授	(西村 有平)
腫瘍病理学	教授	渡邊 昌俊	免疫制御学	連携教授	保富 康宏
統合薬理学	教授	西村 有平	動物機能ゲノミクス	准教授	(鈴木 昇)
分子病態学	教授	島岡 要	遺伝子病態制御学		
感染症制御医学・分子遺伝学	教授	野阪 哲哉	細胞生物学・再生医療学	連携教授	梅澤 明弘

臨床医学系講座

循環器・腎臓内科学	教授	土肥 薫	腎泌尿器外科学	教授	井上 貴博
血液・腫瘍内科学	教授	俵 功	眼科学	教授	近藤 峰生
消化器内科学	教授	中川 勇人	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	教授	竹内 万彦
呼吸器内科学	教授	小林 哲	口腔・顎顔面外科学	教授	新井 直也
代謝内分泌内科学	教授	小林 哲	形成外科学	教授	成島 三長
神経病態内科学	教授	新堂 晃大	麻酔科学	教授	賀来 隆治
リウマチ膠原病内科学	教授	中島 垂矢子	救急集中治療医学	教授	鈴木 圭
家庭医療学	教授	(平山 雅浩)	リハビリテーション医学	教授	百崎 良
精神神経科学	教授	岡田 元宏	臨床薬理学	教授	岩本 卓也
小児科学	教授	平山 雅浩	臨床検査医学	教授	(平山 雅浩)
皮膚科学	教授	山中 恵一	ゲノム医療学	教授	奥川 喜永
放射線医学	教授	(平山 雅浩)	総合診療医学	教授	山本 憲彦
肝胆膵・移植外科学	教授	水野 修吾	病態解析内科学	連携教授	白木 克哉
消化管・小児外科学	教授	問山 裕二	〃	連携教授	和田 英夫
胸部心臓血管外科学	教授	高尾 仁二	新生児学	連携教授	田中 滋己
乳腺外科学	教授	河口 浩介	成育医学	連携教授	谷口 清州
産科婦人科学	教授	(平山 雅浩)	健康増進・予防医療学	教授	小林 由直
脳神経外科学	教授	鈴木 秀謙	臨床がんゲノム学	連携教授	宮城 洋平
運動器外科学・腫瘍集学治療学	教授	(鈴木 秀謙)	臨床形態異常学	教授	(平山 雅浩)

産学官連携講座

臨床創薬研究学講座	教授	(近藤 峰生)	個別化がん免疫治療学講座	教授	藤原 弘
システムズ薬理学講座	教授	(井上 貴博)	個別化がん免疫治療学講座	教授	宮原 慶裕

寄附講座

認知症医療学講座	教授	(新堂 晃大)	三重県総合診療地域医療学講座	教授	(山本 憲彦)
先進医療外科学講座	教授	(問山 裕二)	脊髄末梢神経低侵襲外科学講座	教授	水野 正喜
スポーツ整形外科学講座	教授	(鈴木 秀謙)	脊椎集学治療学講座	教授	(鈴木 秀謙)
先進画像診断学講座	教授	北川 寛也	脊椎先端治療学講座	教授	(鈴木 秀謙)
〃		永田 幹紀	地域支援神経放射線診断学講座	教授	前田 正幸
先進がん治療学講座	教授	野本 由人	地域連携血管内治療学講座	教授	加藤 憲幸
先進血液腫瘍学講座	教授	山口 素子	神経画像病態学講座	教授	伊井 裕一郎
亀山地域医療学講座	教授	(山本 憲彦)	上肢整形外科学講座	教授	(鈴木 秀謙)
〃	教授	堀端 謙	個別化骨髄リンパ系腫瘍制御学講座	教授	渡辺 隆
名張地域医療学講座	教授	(山本 憲彦)	公衆衛生・感染症危機管理学講座	教授	(神谷 元)
〃	教授	若林 英樹			

[看護学科専攻]

基盤看護学	教授	福録 恵子	実践看護学	教授	磯和 勅子
〃	教授	榎屋 正浩	広域看護学	教授	片岡 三佳
実践看護学	教授	角甲 純	〃	教授	岡本 双美子
〃	教授	竹内 佐智恵	〃	教授	谷村 晋
〃	教授	安積 陽子	看護学科附属病院連携推進室	教授	江藤 由美
〃	教授	松岡 真里			

[医学部附属病院]

病院長	池田 智明	副病院長(兼)	兼児 敏浩
副病院長(兼)	水野 修吾	副病院長(兼)	土肥 薫
副病院長(兼)	問山 裕二	副病院長(兼)	渡邊 昌俊
副病院長(兼)	井上 貴博	副病院長(兼)	伊藤 敦士
副病院長(兼)	福永 稚子		

診療部門

総合診療科長(兼)	山本 憲彦	消化管外科長(兼)	問山 裕二
循環器内科長(兼)	土肥 薫	肝胆膵・移植外科長(兼)	水野 修吾
血液内科長(兼)	俵 功	心臓血管外科長(兼)	庄村 遊
消化器・肝臓内科長(兼)	中川 勇人	呼吸器外科長(兼)	高尾 仁二
脳神経内科長(兼)	新堂 晃大	乳腺外科長(兼)	河口 浩介
呼吸器内科長(兼)	小林 哲	小児外科長(兼)	小池 勇樹
腫瘍内科長(兼)	水野 聡朗	整形外科長(兼)	(池田 智明)
腎臓内科長(兼)	村田 智博	産科婦人科長(兼)	(池田 智明)
糖尿病・内分泌内科長(兼)	矢野 裕	小児科長(兼)	平山 雅浩
感染症内科長(兼)	鈴木 圭	精神科神経科長(兼)	岡田 元宏
一般外科長(兼)	水野 修吾	皮膚科長(兼)	山中 恵一

腎泌尿器外科長(兼)	井上 貴博
眼科長(兼)	近藤 峰生
耳鼻咽喉・頭頸部外科長(兼)	竹内 万彦
脳神経外科長(兼)	鈴木 秀謙
形成外科長(兼)	成島 三長
放射線科長(兼)	市川 泰崇
病理診断科長(兼)	渡邊 昌俊
ゲノム診療科長(兼)	奥川 喜永
麻酔科長(兼)	賀来 隆治
緩和ケア科長(兼)	賀来 隆治
救急科長(兼)	鈴木 圭
歯科口腔外科長(兼)	新井 直也

リハビリテーション科長(兼)	百崎 良
総合診療部長(兼)	山本 憲彦
ゲノム医療部長(兼)	奥川 喜永
救命救急・総合集中治療センター長(兼)	鈴木 圭
周産母子センター長(兼)	平山 雅浩
乳腺センター長(兼)	河口 浩介
血管ハートセンター長(兼)	土肥 薫
高度生殖医療センター長(兼)	(池田 智明)
リウマチ・膠原病センター長(兼)	中島 亜矢子
消化器病センター長(兼)	問山 裕二
漢方医学センター長(兼)	高村 光幸

中央部門

検査部長(兼)	杉本 和史
手術部長(兼)	問山 裕二
放射線部長(兼)	市川 泰崇
材料部長(兼)	井上 貴博
輸血・細胞治療部長(兼)	大石 晃嗣
集中治療部長(兼)	賀来 隆治
病理部長(兼)	渡邊 昌俊
光学医療診療部長(兼)	中川 勇人
血液浄化療法部長(兼)	片山 鑑
リハビリテーション部長(兼)	百崎 良
栄養診療部長(兼)	兼児 敏浩

臨床工学部長(兼)	竹内 万彦
外来化学療法部長(兼)	齋藤 佳菜子
肝炎相談支援センター長(兼)	中川 勇人
臓器移植センター長(兼)	水野 修吾
口腔ケアセンター長(兼)	新井 直也
小児・AYAがんトータルケアセンター長(兼)	澤田 博文
認知症センター長(兼)	新堂 晃大
緩和ケアセンター長(兼)	松原 貴子
痛みセンター長(兼)	松崎 孝
超音波センター長(兼)	土肥 薫

支援部門

医療情報管理部長(兼)	土肥 薫
臨床研修・キャリア支援部長(兼)	問山 裕二
医療安全管理部長(兼)	兼児 敏浩
感染制御部長(兼)	田辺 正樹
臨床研究開発センター長(兼)	田丸 智巳
がん支援センター長(兼)	水野 聡朗
Aiセンター長(兼)	兼児 敏浩
広報センター長(兼)	奥川 喜永
CCUネットワーク支援センター長(兼)	土肥 薫

災害対策推進・教育センター長(兼)	岸和田 昌之
災害医療センター長(兼)	鈴木 圭
国際医療支援センター長(兼)	成島 三長
総合サポートセンター長(兼)	福永 稚子
チーム医療推進センター長(兼)	兼児 敏浩
バイオバンクセンター長(兼)	渡邊 昌俊
感染症危機管理センター長(兼)	水野 修吾
超音波センター長(兼)	土肥 薫
脳卒中・心臓病等総合支援センター長(兼)	土肥 薫
医療DXセンター(兼)	北川 寛也

薬剤部

薬剤部長	岩本 卓也
------	-------

看護部

看護部長	福永 稚子
------	-------

総合がん治療センター

総合がん治療センター長(兼)	池田 智明
----------------	-------

医学・病院管理部

管理部長	伊藤 敦士
管理部副部長	伊藤 利宏
総務課長	粟生 泰幸
総務課副課長	世古 恵美
〃	紀平 敬志
経営管理課長(兼)	伊藤 利宏
経営管理課副課長	世古 浩之

経営管理課副課長	福田 雄一
〃	阪井 栄紀
学務課長	福場 博文
医事課長心得	太田 善之
医事課副課長	天池 洋介
医療支援課長	柘植 智司
医療支援課副課長	野呂 真稔

職員現員 | Regular Numbers of Staff |

(令和6年5月1日現在)

区分	大学院医学系研究科						医学部		附属病院 (休職者及び 育児休業者を含む)	(休職者 及び育児 休業者)	
	生命医科学 専攻 (休職者及び 育児休業者を含む)	(休職者 及び育児 休業者)	看護学 専攻 (休職者及び 育児休業者を含む)	(休職者 及び育児 休業者)	寄附 講座等 (休職者及び 育児休業者を含む)	(休職者 及び育児 休業者)	寄附 講座等 (休職者及び 育児休業者を含む)	(休職者 及び育児 休業者)			
大学 教員	教授	31	(0)	10	(0)	5	(0)	7	(0)	12	(0)
	准教授	27	(0)	6	(0)	4	(0)	0	(0)	21	(0)
	講師	10	(0)	2	(0)	2	(0)	1	(0)	46	(0)
	助教	31	(1)	11	(1)	7	(0)	16	(0)	153	(3)
	計	99	(1)	29	(1)	18	(0)	24	(0)	232	(3)
									170(2)		
医療技術職員									230	(9)	
看護職員									671	(27)	
その他職員									13(1)	(5)	
合計									184(2)	(44)	

歴代研究科長等 | Chronological Lists Deans and Directors |

研究科長

(令和6年5月1日現在)

鎮西 康雄	平17.4.1～平18.2.9	片山 直之	平29.4.1～令2.3.31
駒田 美弘	平18.2.10～平22.3.31	湊藤 啓広	令2.4.1～令4.3.31
登 勉	平22.4.1～平25.3.31	堀 浩樹	令4.4.1～令6.3.31
緒方 正人	平25.4.1～平29.3.31	平山 雅浩	令6.4.1～

医学部長

三上 美樹 (事務取扱)	昭47.5.1～昭48.3.31	珠玖 洋	平10.2.10～平14.2.9
	昭48.4.1～昭49.2.9	鎮西 康雄	平14.2.10～平18.2.9
武田 進	昭49.3.10～昭53.3.9	駒田 美弘	平18.2.10～平22.3.31
井澤 道	昭53.3.10～昭55.2.9	登 勉	平22.4.1～平25.3.31
武田 進	昭55.2.10～昭59.2.9	緒方 正人	平25.4.1～平29.3.31
横山 實	昭59.2.10～昭61.2.9	片山 直之	平29.4.1～令2.3.31
伊豆津 公作	昭61.2.10～昭63.2.9	湊藤 啓広	令2.4.1～令4.3.31
杉山 陽一	昭63.2.10～平3.3.31	堀 浩樹	令4.4.1～令6.3.31
水本 龍二	平3.4.1～平6.3.31	平山 雅浩	令6.4.1～
矢谷 隆一	平6.4.1～平10.2.9		

附属病院長

井澤 道	昭48.10.1～昭52.9.30	川村 壽一	平11.4.1～平13.3.31
宮地 一馬	昭52.10.1～昭56.9.30	葛原 茂樹	平13.4.1～平17.3.31
三吉 康郎	昭56.10.1～昭60.3.31	内田 淳正	平17.4.1～平21.3.31
竹澤 英郎	昭60.4.1～昭62.3.31	竹田 寛	平21.4.1～平25.9.30
水本 龍二	昭62.4.1～平元.3.31	伊藤 正明	平25.10.1～令元.9.30
草川 實	平元.4.1～平5.3.31	伊佐地 秀司	令元.10.1～令4.3.31
鈴木 宏志	平5.4.1～平9.3.31	池田 智明	令4.4.1～
坂倉 康夫	平9.4.1～平11.3.31		

附属動物実験施設長

塩見 俊朗	昭54.6.16～昭60.3.31	鎮西 康雄	平8.4.1～平12.3.31
坂本 弘	昭60.4.1～平4.3.31	栗林 景容	平12.4.1～平15.3.31
野坂 昭一郎	平4.4.1～平8.3.31		

学生 | Students

[医学部]

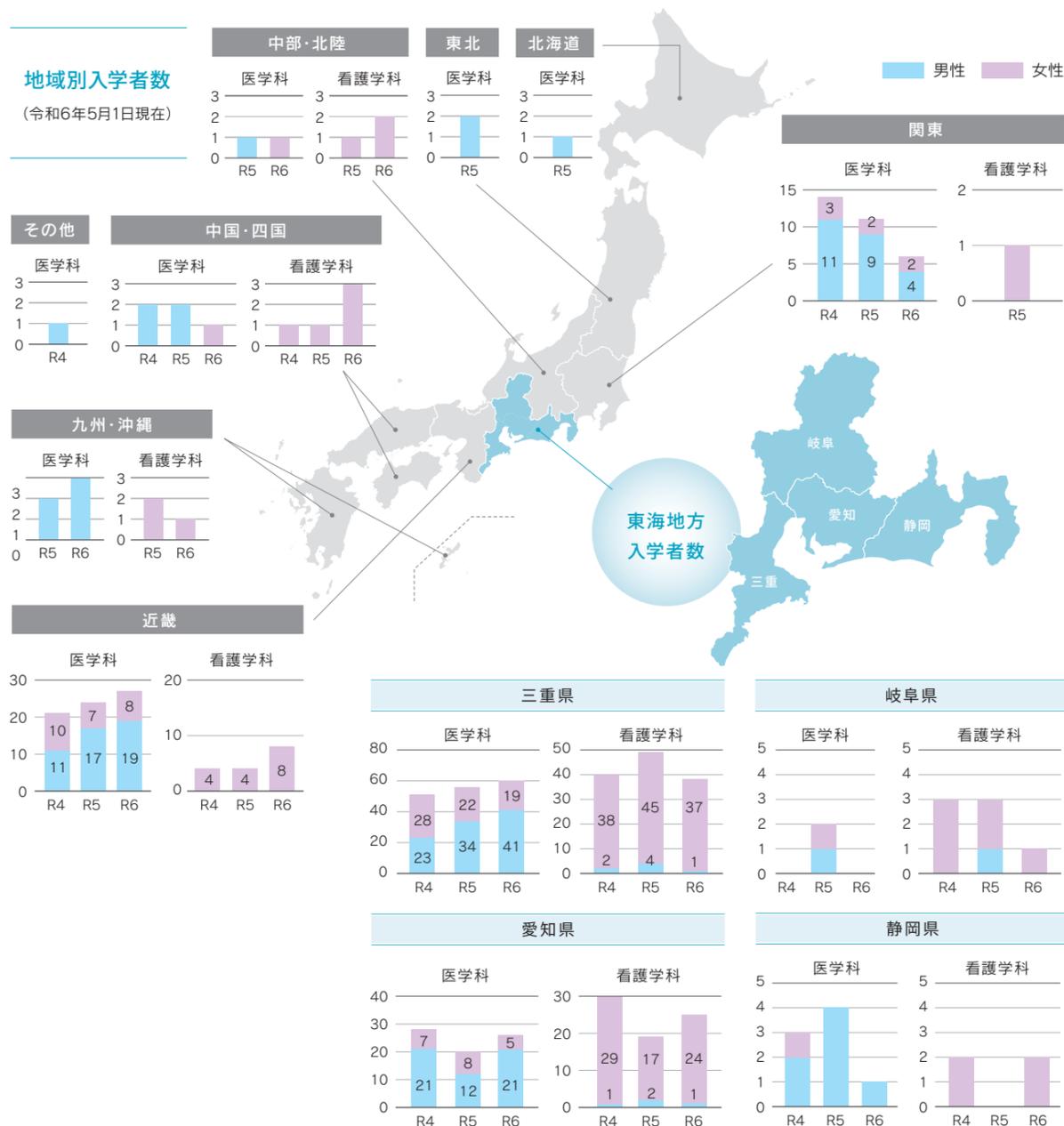
入学定員及び現員

(令和6年5月1日現在)

学科名	区分	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次		合計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
医学科	入学定員	125		125		125		125		125		125		750	
	現員	92	36	84	40	74	50	77	55	83	42	77	46	487	269
看護学科	入学定員	80		80		90 (3年次編入10名含む)		90 (3年次編入10名含む)						340	
	現員	2	78	8	73	1	79	2	76					13	306

地域別入学者数

(令和6年5月1日現在)



卒業生数

(令和6年5月1日現在)

学科名	昭和51年度～平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31/令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
医学科	3,955	126	122	127	119	129	127	113	126	133	5,077

内訳

- ・三重県立医学専門学校……………277名
- ・三重大学医学部医学科……………5,077
- ・三重県立医科大学……………161名
- ・三重県立大学医学部……………930名

(令和6年5月1日現在)

学科名	平成13年度～平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31/令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
看護学科	1,237	79	81	79	77	77	82	82	77	78	1,949

内訳

- ・三重大学医療技術短期大学部……………715名
- ・三重大学医学部看護学科……………1,949名

[大学院 医学系研究科]

入学定員及び現員

(令和6年5月1日現在)

区分	学科	収容定員		現員				合計
		入学定員	総定員	1年	2年	3年	4年	
修士・博士	医科学	12	24	6	6			12
前期課程	看護学	11	22	6<0>	13<7>			19<7>
博士後期課程	看護学	3	9	2	2	12		16
博士課程	生命医科学	45	180	35<13>	38<31>	45<35>	62<53>	180<132>
合計		71	235	49<13><0>	59<31><7>	57<35>	62<53>	227<132><7>

()内は、昼夜開講制による学生を内数で示す / ()内は、社会人特別選抜による学生を内数で示す

学位(博士(医学))授与数

(令和6年5月1日現在)

旧制学位	新制学位		合計
	博士課程	論文博士	
三重県立医科大学	333	1,124	3,083

大学院医学系研究科・医学部について

About the Mie University Graduate School of Medicine / Faculty of Medicine

図書及び雑誌 | Books and Journals

(令和6年3月31日現在)

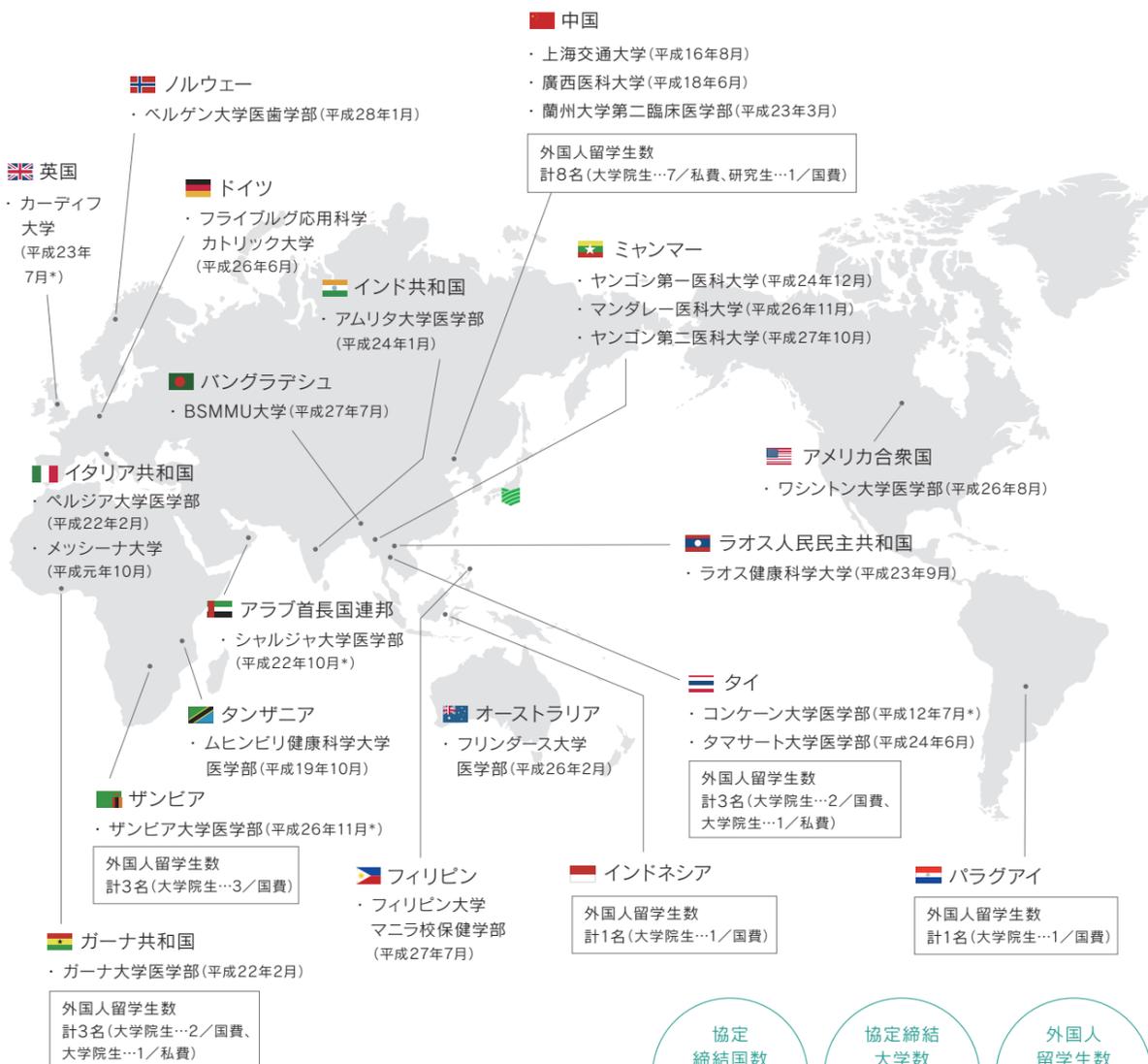
区分	単行図書(冊)	製本雑誌(冊)	合計(冊)
和書	18,752	10,619	29,371
洋書	1,816	23,313	25,129
計	20,568	33,932	54,500

区分	総種類数(種)	継続購入種類数(種)
国内雑誌	571	83
外国雑誌	938	215
計	1,509	298

国際交流 | International Exchange

国際交流協定締結大学等(令和6年3月31日現在) 外国人留学生数(令和6年5月1日現在)

(日付は協定締結年月日/*は大学間協定)



協定締結国数 **17**カ国

協定締結大学数 **23**大学

外国人留学生数 計**19**名

解剖体数 | Number of Autopsies

[系統解剖]

(令和6年3月31日現在)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
解剖体数	31	31	31	31	33	33	32	32	33	33	320
収集体数	65	42	47	47	49	39	21	36	30	32	408

[病理解剖]

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
解剖体数	19	16	18	12	23	11	12	18	27	16	172

科学研究費助成事業採択状況 | Grants-in-Aid for Scientific Research

(令和5年度実績)

研究種目		件数	金額(千円)	計(件数)	計(金額/千円)
新学術領域研究	医学部	0	0	0	0
	附属病院	0	0		
基盤研究(A)	医学部	0	0	0	0
	附属病院	0	0		
基盤研究(B)	医学部	12	46,800	14	53,000
	附属病院	2	6,200		
基盤研究(C)	医学部	87	85,900	145	140,750
	附属病院	58	54,850		
挑戦的研究(開拓)	医学部	1	12,000	1	12,000
	附属病院	0	0		
挑戦的研究(萌芽)	医学部	2	4,300	3	5,900
	附属病院	1	1,600		
若手研究(若手研究(B)含む)	医学部	12	9,500	43	40,250
	附属病院	31	30,750		
研究活動スタート支援	医学部	0	0	0	0
	附属病院	0	0		
研究成果公開促進費	医学部	0	0	0	0
	附属病院	0	0		
特別研究員奨励費	医学部	0	0	0	0
	附属病院	0	0		
奨励研究	医学部	0	0	2	830
	附属病院	2	830		
国際共同研究強化(旧:国際共同研究強化(A))	医学部	1	0	2	0
	附属病院	1	0		
海外連携研究(旧:国際共同研究強化(B))	医学部	1	2,100	2	4,200
	附属病院	1	2,100		
直接経費のみ 計	医学部	116	160,600	212	256,930
	附属病院	96	96,330		

外部資金受入状況 | Orijin and Division of Off-campus Funds

(令和5年度実績)

区分		件数	金額(千円)	計(件)	計(金額/千円)
奨学寄附金	医学部	861	626,761	913	760,249
	附属病院	52	133,488		
受託研究	医学部	44	1,067,178	89	1,092,311
	附属病院	45	25,133		
共同研究	医学部	64	140,742	77	146,246
	附属病院	13	5,504		
受託事業	医学部	3	9,968	8	61,172
	附属病院	5	51,204		
計	医学部	972	1,844,649	1,087	2,059,978
	附属病院	115	215,329		

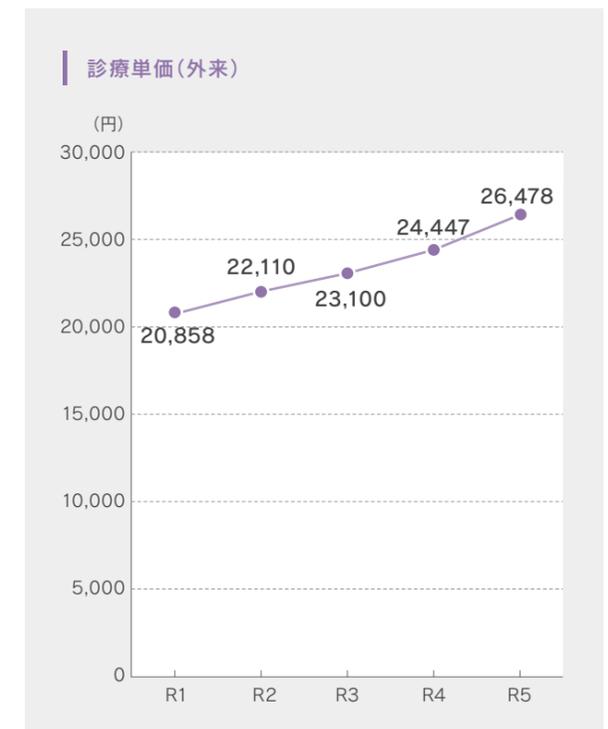
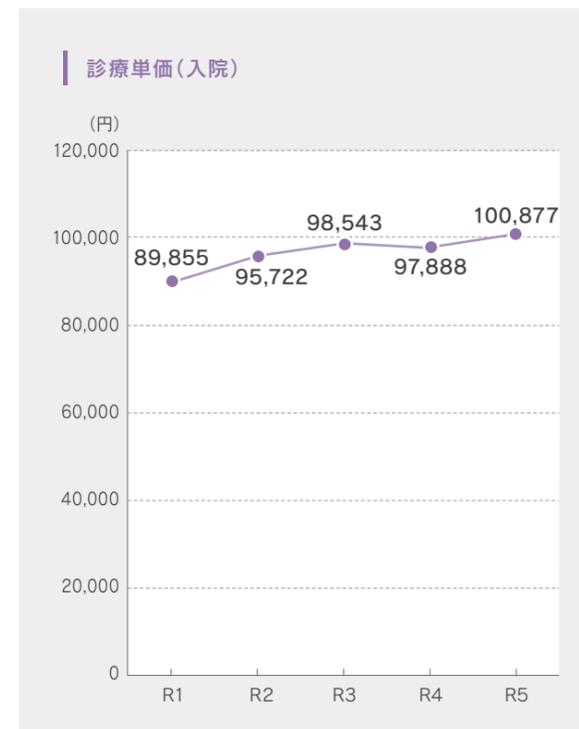
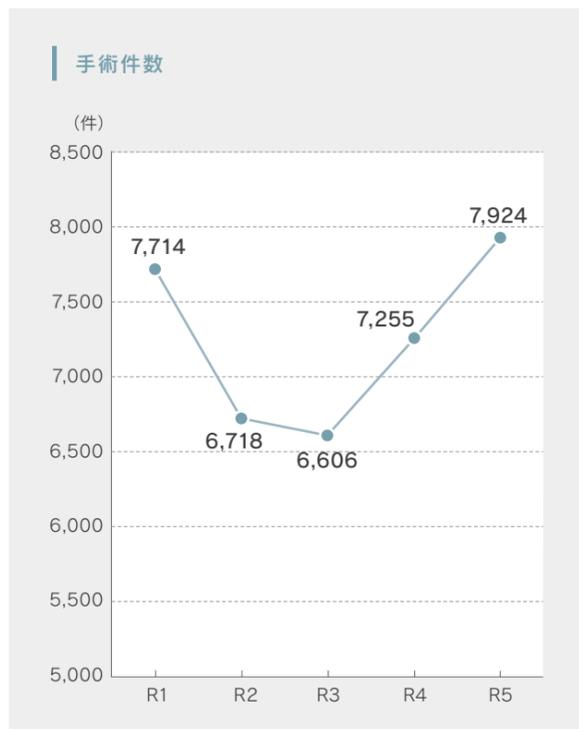
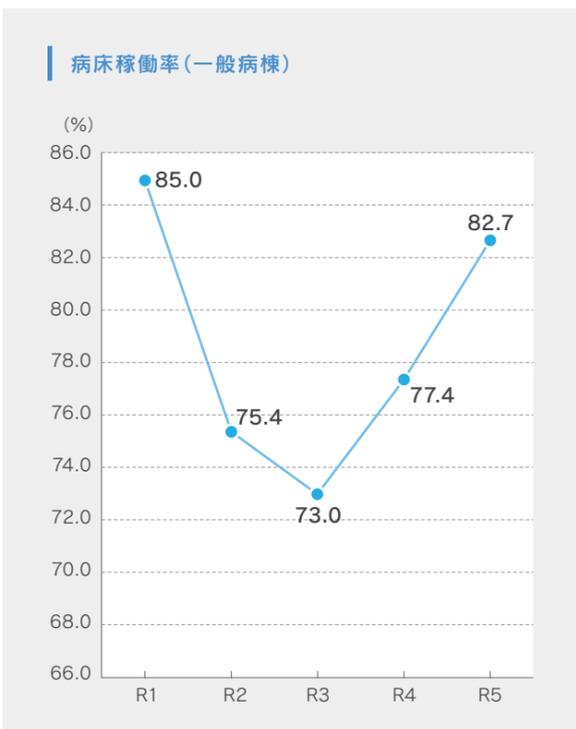
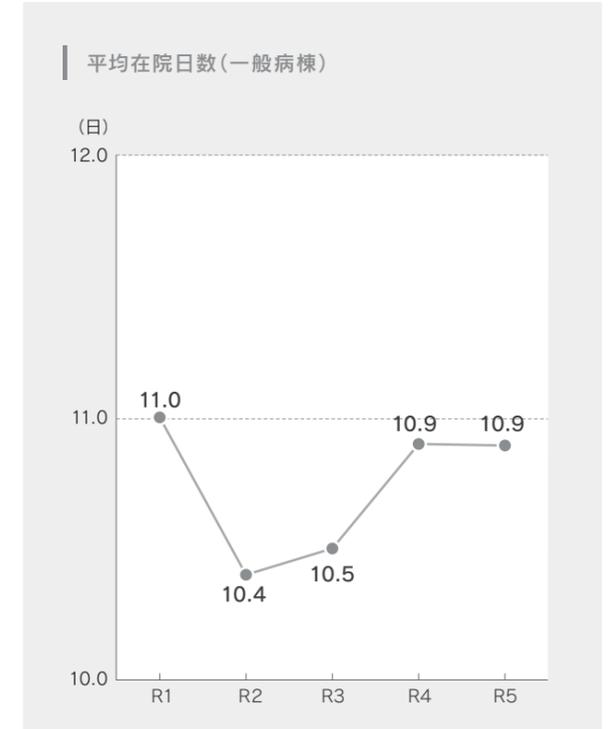
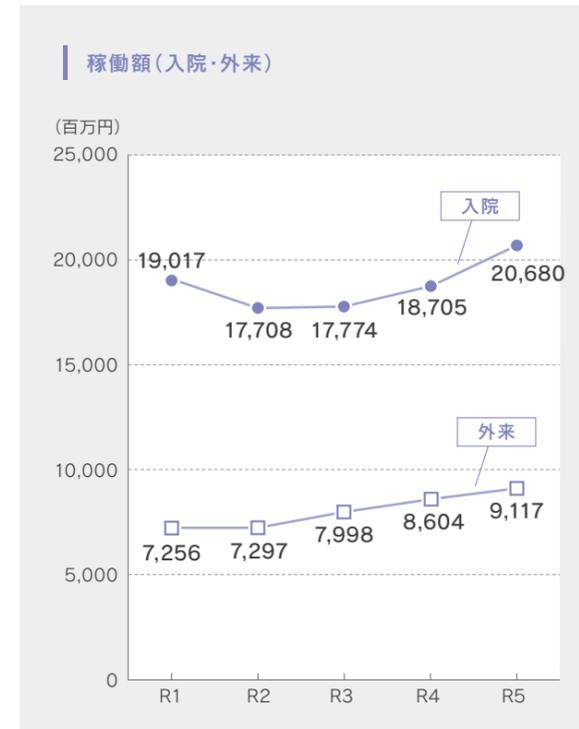
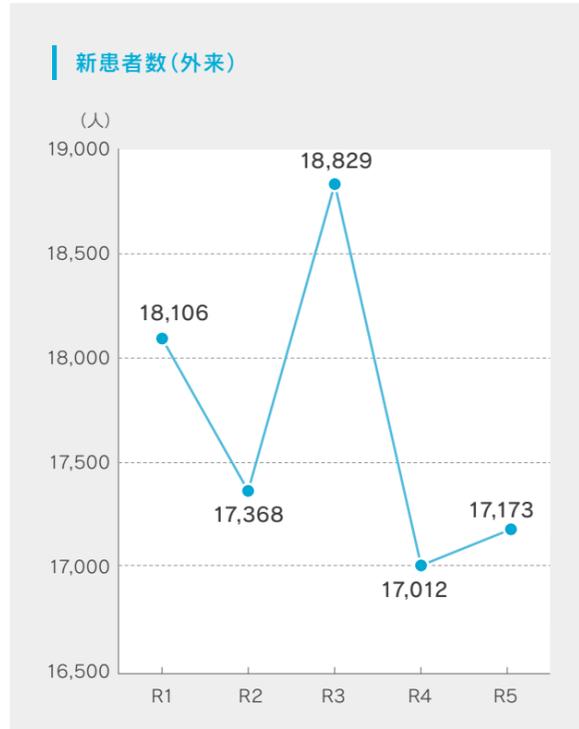
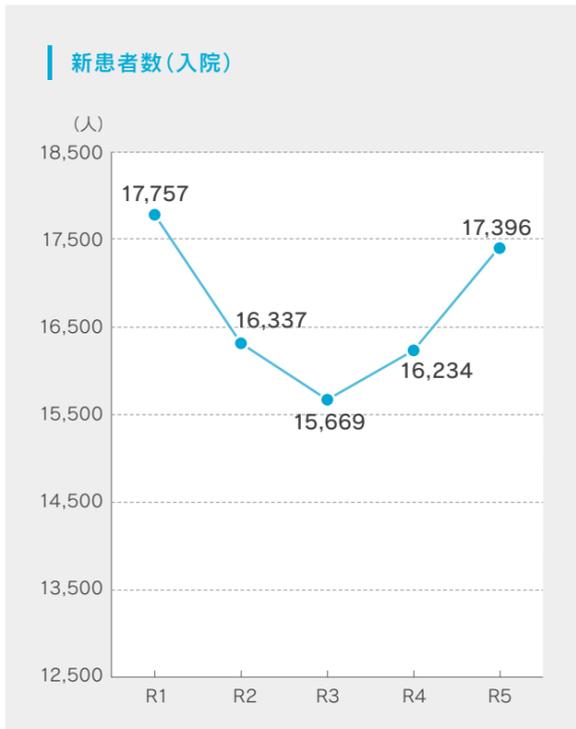
医学部附属病院について

About the Mie University Hospital

病院実績 | Performance |

[685床(うち精神科神経科30床)]

重要経営指標である新入院患者数・手術件数等はコロナ禍で落ち込んだが、令和4年度から徐々に脱コロナを掲げ、令和5年度はコロナ前の体制へ戻すことで回復し、急性期病院の役割を果たしている。



診療等実績 | Performance |

[臨床検査件数(中央検査部・輸血部・細胞治療部、病理部)] (2023年度実績)

区分	入院(件)	外来(件)	計(件)
一般検査	31,636	130,414	162,050
血液学的検査	260,718	358,883	619,601
生化学的検査	1,211,225	2,143,515	3,354,740
免疫学的検査	103,414	199,450	302,864
微生物学的検査	42,719	14,340	57,059
病理学的検査	23,536	31,552	55,088
輸血検査	14,637	17,797	32,434
生理機能検査	18,554	45,802	64,356
採血・採液等	543,172	61,315	604,487
計	2,249,611	3,003,068	5,252,679

[X線撮影、透視、CT及びMRI検査人数] (令和4年度実績)

区分	入院(件)	外来(件)	計(件)	
一般撮影(単純)	31,692	39,197	70,889	
一般撮影(造影)	1,111	559	1,670	
X線CT検査	9,092	19,846	28,938	
MRI検査	2,716	9,608	12,324	
PET-CT	159	993	1,152	
放射線治療	体外照射	9,128	9,911	19,039
	腔内照射	101	3	104
計	53,999	80,117	134,116	

[処方枚数、件数及び薬剤数] (令和5年度実績)

区分	枚数(枚)	件数(件)	薬剤数(剤)	
入院	134,943	269,959	1,633,736	
外来	院内	4,316	11,027	140,805
	院外	169,737		
計	308,996	280,986	1,774,541	

[分娩数] (令和5年度実績)

	成熟児	未熟児	計
正常分娩	188	38	226
異常分娩	233	27	260
計	421	65	486

[リハビリテーション患者数及び件数] (令和5年度実績)

区分	実患者数(人)	療法件数(件)
理学療法	2,365	30,440
作業療法	816	9,022
言語聴覚療法	719	5,255
計	3,900	44,717

[患者給食等] (令和5年度実績)

区分	食数・件数(件)
一般治療食(一般食)	242,182
特別治療食(特別食)	210,311
個別栄養食事指導(入院)	1,138
個別栄養食事指導(外来)	2,302
集団栄養食事指導(入院)	6
集団栄養食事指導(外来)	34
栄養サポートチーム加算	363
早期栄養介入管理加算	126
早期栄養介入管理加算(入室早期から経腸栄養を開始)	621
入院栄養管理体制加算	10,022

[病理学的検査件数] (令和5年度実績)

区分	件数(件)
術中迅速組織診(N003)	688
組織診(N000)	8,302
細胞診(N004)	6,300

臨床研究開発センター Clinical Research and Development Center

当院の研究開発センターは、地域の住民の皆様や医療機関との連携を通じて臨床研究や治験を積極的に推進する支援組織であるとともにリサーチマインドを有する医療人の育成に欠かせない部門です。

製薬企業主導の医薬品(医療機器)の治験、医師主導型治験、グローバル治験、臨床研究の実施支援や生物統計家による臨床統計のコンサルテーション、登録・データセンター等を行っています。

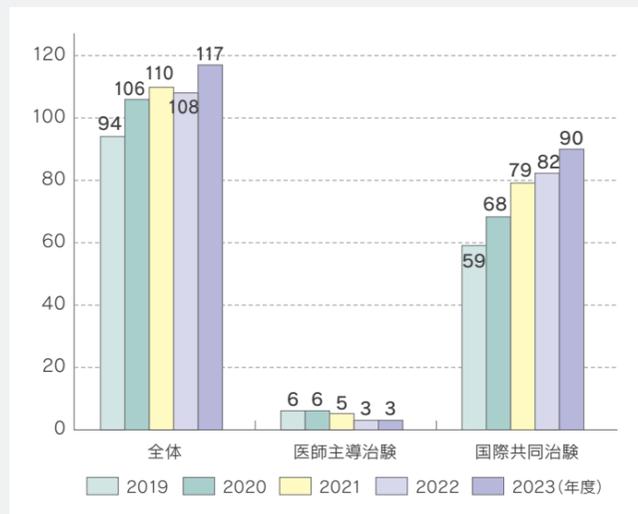
2007年に開始された厚生労働省「治験活性化5か年計画」では治験拠点病院30施設の1つに採択されました。本院の

臨床研究・治験を活性化するとともに医薬品等のシーズ開発の推進に取り組んでいます。



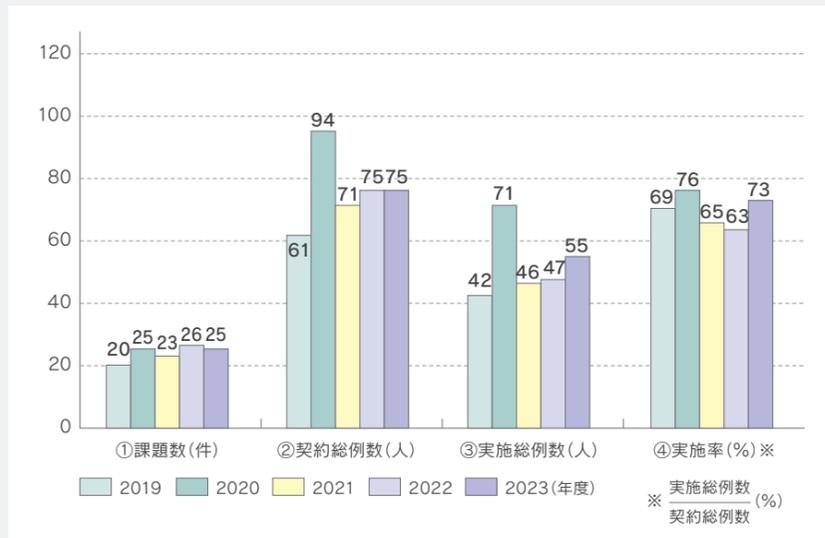
当院のオリジナル・シーズ開発とその支援

2012年度開始の「臨床研究・治験活性化5か年計画」では、メディカルイノベーション推進政策を踏まえ、大学の医薬品/医療機器シーズの臨床開発を促進するための支援体制整備を進めてきました。三重大学では、がんの新たな治療法として期待されている「がんワクチン/免疫細胞治療」の研究を積極的に進めており、2012年には開発型医師主導治験(CHP-NY-ESO-1)の実施支援をしています。その他、三重大学にある医薬品等のシーズの開発支援を行っています。



治験実施状況

終了した治験・製薬後臨床試験の課題数・契約総例数・実施率の推移



医療機関等の指定状況等 Services related Medical Care Legislations and Dates of Approval

[医療機関の承認等] (令和6年5月1日現在)

昭和48. 10. 1	医療法による病院開設認可	昭和63. 3. 29	臨床修練指定病院(外国医師・外国歯科医師)
〃	総合病院の名称使用承認	6. 1	健康保険法による特定承認保険医療機関
〃	健康保険法による保険医療機関	〃	国民健康保険法による特定承認保険医療機関
〃	国民健康保険法による保険医療機関	平成 6. 11. 1	特定機能病院の名称承認
昭和57. 4. 27	消防法による救急医療機関承認		

[医療機関の承認等] (令和6年5月1日現在)

昭和48. 10. 1	生活保護法による医療
〃	結核予防法による医療
〃	労働者災害補償保険法による医療
〃	老人福祉法による医療
〃	母子保健法による医療(養育医療、三歳児精密検診)
〃	児童福祉法による医療(育成医療)
〃	精神保健法による医療
〃	身体障害者福祉法による医療(更正医療)
〃	戦傷病者特別援護法による医療(更正医療)
〃	特定疾患治療研究事業(スモン、パーチェット病、重症筋無力症、全身性エリテマトーデス、多発性硬化症、再生不良性貧血)
昭和48. 12. 7	船員法による医療
昭和49. 2. 5	原爆医療法による医療
4. 1	小児慢性特定疾患治療研究事業(悪性新生物、慢性腎疾患、ぜんそく、先天性代謝異常、血友病等血痕疾患)
9. 1	公害健康被害補償法による医療
10. 1	特定疾患治療研究事業(サルコイドーシス、筋萎縮性側索硬化症、強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎、特発性血小板減少性紫斑病)
〃	小児慢性特定疾患治療研究事業(慢性心疾患、内分泌疾患、膠原病、糖尿病)
昭和50. 8. 1	地方公務員災害補償法による医療
〃	国家公務員災害補償法による医療
10. 1	特定疾患治療研究事業(結節性動脈周囲炎、潰瘍性大腸炎、大動脈炎症候群、ピュルガー病、天痘瘡)
昭和51. 10. 1	特定疾患治療研究事業(脊髄小脳変性症、クローン病、難治性肝炎のうち劇症肝炎)
昭和52. 10. 1	特定疾患治療研究事業(悪性関節リウマチ)
昭和53. 10. 1	特定疾患治療研究事業(パーキンソン病)
昭和54. 10. 1	特定疾患治療研究事業(アミロイドーシス)
昭和55. 4. 1	母子保健法による医療(妊娠・乳児一般健診)
12. 1	特定疾患治療研究事業(後縦靭帯骨化症)
昭和56. 10. 1	特定疾患治療研究事業(ハンチントン病)
昭和57. 10. 1	特定疾患治療研究事業(モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症))
昭和59. 1. 1	特定疾患治療研究事業(ウエゲナー肉芽腫症)
昭和60. 1. 1	特定疾患治療研究事業(特発性拡張型(うっ血型)心筋症)
11. 7	労働者災害補償保険法による医療(アフターケア)
昭和61. 1. 1	特定疾患治療研究事業(シャイ・ドレーガ症候群)
昭和62. 1. 1	特定疾患治療研究事業(表皮水痘症(接合部型及び栄養障害型))
昭和63. 1. 1	特定疾患治療研究事業(膿瘍性乾癬)
昭和64. 1. 1	特定疾患治療研究事業(広範脊柱管狭窄症)
平成 元. 10. 1	先天性血液凝固因子障害治療研究事業
平成 2. 1. 1	特定疾患治療研究事業(原発性胆汁性肝硬変)
4. 1	小児慢性特定疾患治療研究事業(神経筋疾患)
平成 3. 1. 1	特定疾患治療研究事業(重症急性膵炎)

[医療機関の承認等] (令和6年5月1日現在)

平成 4. 1. 1	特定疾患治療研究事業(特発性大腿骨頭壊死症)
平成 5. 1. 1	特定疾患治療研究事業(混合性結合組織病)
平成 6. 1. 1	特定疾患治療研究事業(原発性免疫不全症候群)
平成 7. 1. 1	特定疾患治療研究事業(特発性間質性肺炎)
平成 8. 1. 1	特定疾患治療研究事業(網膜色素変性症)
2.21	エイズ治療拠点病院
平成 9. 1. 1	特定疾患治療研究事業(プリオン病)
1. 6	地域災害拠点病院の指定
平成10. 1. 1	特定疾患治療研究事業(原発性肺高血圧症)
4. 1	身体障害者福祉法による医療(更生医療)(ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害)
5. 1	特定疾患治療研究事業(神経線維腫症Ⅰ型/神経線維腫症Ⅱ型)
12. 1	特定疾患治療研究事業(亜急性硬化性全脳炎)
〃	特定疾患治療研究事業(バット・キアリ(Budd-Chiari)症候群)
〃	特定疾患治療研究事業(特発性慢性肺血栓性症(肺高血圧型))
平成11. 4. 1	特定疾患治療研究事業(ライソゾーム病)
平成12. 4. 1	特定疾患治療研究事業(副腎白質ジストロフィー)
10. 1	身体障害者福祉法による医療(更正医療)(小腸に関する医療)
平成19. 1.31	がん診療連携拠点病院の指定
平成20.12.15	肝疾患診療連携拠点病院の指定
平成25. 2. 8	小児がん拠点病院の指定
平成30. 3.30	三重県アレルギー疾患医療拠点病院
令和 元. 9.19	がんゲノム医療拠点病院
令和 2. 2.26	特定行為研修指定研修機関の指定

[基本診療の施設基準] (令和6年5月1日現在)

- 地域歯科診療支援病院歯科初診料
- 歯科外来診療環境体制加算
- 歯科診療特別対応連携加算
- 初診料、再診料、外来診療料
注1情報通信機器を用いた診療
- 特定機能病院入院基本料
- 特定機能病院入院基本料
注11入院栄養管理体制加算
- 救急医療管理加算
- 超急性期脳卒中加算
- 診療録管理体制加算1
- 医師事務作業補助体制加算1
- 急性期看護補助体制加算
- 看護職員夜間配置加算
- 看護補助加算1
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 重症患者初期支援充実加算
- 無菌治療室管理加算1・2
- 放射線治療病室管理加算
(密封小線源による治療の場合)
- 緩和ケア診療加算
- 精神科身体合併症管理加算
- 依存症入院医療管理加算
- 摂食障害入院医療管理加算
- 栄養サポートチーム加算
- 医療安全対策加算1
- 感染対策向上加算1
- 感染対策向上加算 注2指導強化加算
- 患者サポート体制充実加算
- 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ハイリスク妊娠管理加算
- ハイリスク分娩管理加算
- 呼吸ケアチーム加算
- 術後疼痛管理チーム加算
- 病棟薬剤業務実施加算1・2
- データ提出加算2
- 入退院支援加算1
- せん妄ハイリスク患者ケア加算
- 精神疾患診療体制加算1・2
- 排尿自立支援加算
- 地域医療体制確保加算
- 救命救急入院料3
- 救命救急入院料
注1算定上限日数に関する基準
- 救命救急入院料
注4早期離床・リハビリテーション加算
- 救命救急入院料 注9早期栄養介入管理加算
- 特定集中治療室管理料1
- 特定集中治療室管理料
注1算定上限日数に関する基準
- 特定集中治療室管理料
注4早期離床・リハビリテーション加算
- ハイケアユニット入院医療管理料2
- ハイケアユニット入院医療管理料
注3早期離床・リハビリテーション加算
- 新生児特定集中治療室管理料1
- 総合周産期特定集中治療室管理料
- 新生児治療回復室入院医療管理料
- 総合周産期特定集中治療室管理料
注3成育連携支援加算
- 小児入院医療管理料2
- 小児入院医療管理料 注5無菌治療管理加算1及び2
- 小児入院医療管理料 注7養育支援体制加算
- 看護職員処遇改善評価料60

[特掲診療料の施設基準] (令和6年5月1日現在)

- 歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び
歯科治療時医療管理料
- 口腔細菌定量検査
- 歯科口腔リハビリテーション2
- 手術時歯根面レーザー応用加算
- 広範囲顎骨支持型装置埋入手術
- 手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術
- 歯周組織再生誘導手術
- 上顎・下顎骨形成術(歯科診療に係るものに限る)
- う蝕歯無痛の窩洞形成加算
- 歯科技工加算
- がん性疼痛緩和指導管理料
- がん患者指導管理料イ・ロ・ハ・ニ
- 外来緩和ケア管理料
- 移植後患者指導管理料
- 糖尿病透析予防指導管理料
- 乳腺炎重症化予防ケア・指導料
- 婦人科特定疾患治療管理料
- 腎代替療法指導管理料
- 心臓ペースメーカー指導管理料
- 高度難聴指導管理料
- 糖尿病合併症管理料
- 外来栄養食事指導料
- 外来腫瘍化学療法診療料1
- 外来腫瘍化学療法診療料 注6連携充実加算
- 外来放射線照射診療料
- 一般不妊治療管理料
- 生殖補助医療管理料1
- 開放型病院共同指導料
- ハイリスク妊婦連携指導料1・2
- こころの連携指導料(Ⅱ)
- ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅱ)
- がん治療連携計画策定料
- 認知症専門診断管理料
- 肝炎インターフェロン治療計画料
- 外来排尿自立指導料
- 薬剤管理指導料
- 地域連携診療計画加算
- 診療情報提供料(Ⅰ) 電子的診療情報提供料
- 診療情報提供料(Ⅰ) 検査・画像情報提供加算
- 医療機器安全管理料1・2
- 在宅血液透析指導管理料
- 在宅植込型補助人工心臓(非拍動龍型)
- 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
- 持続血糖測定器加算
- 骨髄微小残存病変量測定
- BRCA1/2遺伝子検査
- がんゲノムプロファイリング検査
- 遺伝学的検査
- 染色体検査 注2絨毛染色体検査
- 先天性代謝異常症検査
- 抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体
(抗体特異性同定検査)
- ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
- HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
- HPV核酸検出
- 検体検査管理加算(Ⅰ)(Ⅳ)
- 国際標準検査管理加算
- 遺伝性カウンセリング加算
- 遺伝性腫瘍カウンセリング加算
- 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
- 時間内歩行試験
- シャトルウォーキングテスト
- 胎児心エコー法
- ヘッドアップティルト試験
- 皮下連続式グルコース測定
- 長期継続頭蓋内脳波検査
- 脳波検査判断料1
- 神経学的検査
- 補聴器適合検査
- 全視野精密網膜電図
- 黄斑局所網膜電図
- ロービジョン検査判断料
- コンタクトレンズ検査料1
- 内服・点滴誘発試験
- センチネルリンパ節生検
- 前立腺生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)
- CT透視下気管支鏡検査加算
- 画像診断管理加算1, 2, 3
- ポジトロン断層撮影
- ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影
- CT撮影及びMRI撮影
- 冠動脈CT撮影加算
- 外傷全身CT加算
- 血流予備量比コンピュータ断層撮影
- 心臓MRI撮影加算
- 乳房MRI撮影加算
- 頭部MRI撮影加算
- 肝エラストグラフィ加算
- 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 外来化学療法加算1
- 無菌製剤処理料
- 心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
- 脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
- 運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
- 呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
- 摂食機能療法(摂食嚥下機能回復体制加算2)
- がん患者リハビリテーション料
- 通院・在宅精神療法(療養生活継続支援加算)
- 認知療法・認知行動療法

【特掲診療料の施設基準】（令和6年5月1日現在）

- 精神科ショート・ケア及びデイ・ケア（小規模なもの）
- 抗精神病特定薬剤治療指導管理料
- 医療保護入院等診療料
- 静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）
- 硬膜外自家血注入
- エタノールの局所注入（甲状腺・副甲状腺）
- 人工腎臓（慢性維持透析を行った場合1）
- 透析液水質確保加算2
- 人工腎臓の導入期加算2（腎代替療法実績加算）
- 導入期加算3
- 難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法
- 移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
- 皮膚悪性腫瘍切除術（悪性黒色腫センチネルリンパ節加算）
- 皮膚移植術（死体）
- 組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る）【一次再建・二次再建】
- 四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
- 骨移植術（軟骨移植術を含む）（同種移植術（非生体）（同種骨移植術（特殊なものに限る）））
- 骨移植術（軟骨移植術を含む）（自家培養軟骨移植術に限る）
- 後縦靭帯骨化症手術（前方進入によるもの）
- 椎間板内酵素注入療法
- 腫瘍脊椎骨全摘出術
- 脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む）及び脳刺激装置交換術
- 内視鏡下脳腫瘍生検術
- 内視鏡下脳腫瘍摘出術
- 癒着性脊髄くも膜炎手術（脊髄くも膜剥離操作を行うもの）
- 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- 角結膜悪性腫瘍切除手術
- 角膜移植術（内皮移植加算）
- 羊膜移植術
- 緑内障手術（流出路再建術（眼内法））
- 緑内障手術（濾過胞再建術（needle法））
- 緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））
- 緑内障手術（水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）
- 網膜再建術
- 内喉頭筋内注入術（ボツリヌス毒素によるもの）
- 経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
- 人工中耳植込術
- 人工内耳植込術、植込骨導補聴器移植術及び植込型骨導補助器交換術
- 内視鏡下鼻・副鼻腔手術V（拡大副鼻腔手術）
- 経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（頭蓋底郭清、再建を伴うもの）
- 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む）
- 内視鏡的逆流防止粘膜切除術

- 腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）
- 鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
- 頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
- 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（MRIによるもの）
- 遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術
- 乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳頭乳輪切除術（腋窩郭清を伴うもの））
- 乳がんセンチネルリンパ節加算1,2
- ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術
- 胸腔鏡下拡大胸腺摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 肺悪性腫瘍手術（壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜併切除を伴うもの）に限る）
- 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（内視鏡支援機器を用いる場合）（区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合）
- 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもの）
- 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）
- 食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膈腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）
- 胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
- 経カテーテル大動脈弁置換術（頸心尖大動脈弁置換術及び経皮的冠動脈弁置換術）
- 胸腔鏡下弁置換術
- 胸腔鏡下弁形成術
- 経皮的僧帽弁クリップ術
- 不整脈手術 左心耳閉鎖術（胸腔鏡下によるもの）
- 不整脈手術 左心耳閉鎖術（経カテーテル的手術によるもの）
- 経皮的中隔心筋焼灼術
- ベースメーカー移植術及びベースメーカー交換術
- ベースメーカー移植術（リードレスベースメーカー）
- 両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術（経静脈電極の場合）
- 両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術（心筋電極の場合）
- 植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの）、植込型除細動器交換術（その他のもの）及び経静脈電極除去術
- 植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術（心筋リードを用いるもの）
- 両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付埋込型除細動器交換術（経静脈電極の場合）
- 両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付埋込型除細動器交換術（心筋電極の場合）
- 大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
- 経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）
- 補助人工心臓
- 経皮的下肢動脈形成術

【特掲診療料の施設基準】（令和6年5月1日現在）

- 腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）
- 腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）
- 腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの）
- 内視鏡的小腸ポリープ切除
- 腹腔鏡下胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
- 腹腔鏡下噴門側胃術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
- 腹腔鏡下胃全摘術（単純全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）及び腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
- 胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）
- 副腎腫瘍ラジオ波焼灼療法
- 胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うもの）
- 腹腔鏡下肝切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 腹腔鏡下肝切除術（部分切除及び外側区域切除）
- 腹腔鏡下肝切除術（亜区域切除、1区域切除（外側区域切除を除く）、2区域切除及び3区域切除以上のもの）
- 生体部分肝移植術
- 同種死体肝移植術
- 腹腔鏡下脾腫瘍摘出術
- 腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術
- 腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合を除く）
- 腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- 腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術、低位前方切除術及び切断術に限る）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）
- 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
- 腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 同種死体腎移植術
- 生体腎移植術
- 膀胱水圧拡張術
- 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
- 人工尿道括約筋植込・置換術
- 膀胱頸部形成術（膀胱頸部吊上術以外）
- 埋没陰茎手術
- 精巣内精子採取術
- 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器加算を用いるもの）

- 腹腔鏡下仙骨隆固定術（内視鏡手術用支援機器を用いた場合）
- 腹腔鏡下腔式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る）
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る）
- 腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
- 遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮付属器腫瘍摘出術
- 胎児胸腔・羊水腔シャント術
- 臍帯穿刺
- 体外式膜型人工肺管理料
- 輸血管理料（1）
- 貯血式自己血輸血管理体制加算
- 自己生体組織接着剤作成術
- 同種クリオプレシビテート作製術
- 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- 胃瘻造設時嚥下評価機能加算
- 麻酔管理料Ⅰ・Ⅱ
- 周術期薬剤管理加算
- 放射線治療専任加算
- 外来放射線治療加算
- クラウン・ブリッジ維持管理料
- 高エネルギー放射線治療
- 強度変調放射線治療（IMRT）
- 1回線量増加加算（全乳房照射）
- 画像誘導放射線治療加算（IGRT）
- 体外照射呼吸性移動対策加算
- 1回線量増加加算（前立腺照射）
- 定位放射線治療
- 定位放射線治療呼吸移動対策加算
- 画像誘導密封小線源治療加算
- CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー
- 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
- 保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
- デジタル病理画像による病理診断
- 病理診断管理加算2
- 悪性腫瘍病理組織標本加算

【先進医療A（第2項先進医療技術）】（令和6年5月1日現在）

平成25. 3. 1	末梢血単核球移植による血管再生治療	令和 4.10. 1	子宮内細菌叢検査2
令和 4. 4. 1	子宮内膜受容能検査2	令和 5. 3. 1	膜構造を用いた生理学的精子選択術

【先進医療B（第3項先進医療技術）】（令和6年5月1日現在）

平成27. 7. 1	インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法
平成28.11. 1	腹腔鏡下センチネルリンパ節生検早期胃がん

施設案内 Information

病院各階案内図 | Guide to Hospital Floors

[病棟] (令和6年5月1日現在)

	北棟	南棟	病床数
12F	レストラン・三医会ホール		
11F	病棟		97床
10F	病棟		98床
9F	病棟		98床
8F	病棟		99床
7F	病棟	病棟	101床
6F	病棟	病棟	92床
5F	病棟	病棟	76床
3F	手術部 ■ 材料部 ■ 輸血部 ■ 臨床工学部 ■ 病理部		
2F	総合集中治療センター 血液浄化療法部 ■ 光学医療診療部 ■ 放射線部 ■ 血管ハートセンター		24床
1F	材料部 ■ 薬剤部 ■ 医療材料渡し口 救命救急センター救急外科 ■ 栄養診療部 ■ 時間外受付・防災センター	医療売店 ■ 理容室 ■ 美容室	合計 685床

[外来・診療棟]

5F	大ホール ■ 大会議室 ■ 臨床研修キャリア支援部 ■ 院内学級 ■ 患者図書館
4F	皮膚科 ■ 精神科神経科 ■ 肝炎相談支援センター 歯科口腔外科・口腔ケアセンター ■ 脳波検査室
3F	総合診療科 ■ 総合内科 ■ 循環器内科 ■ リウマチ・膠原病センター ■ 外来化学療法部 消化器・肝臓内科 ■ 呼吸器内科 ■ 血液内科 ■ ゲノム診療科 ■ 遺伝カウンセリング室 腎臓内科 ■ 感染症内科 ■ 腎泌尿器外科 ■ 生理機能検査室 ■ 眼科機能検査室 腫瘍内科 ■ 糖尿病・内分泌内科 ■ 緩和ケア科 ■ 採血室
2F	一般外科 ■ 小児外科 ■ 整形外科 ■ 眼科 ■ 心臓血管外科 ■ 肝臓・移植外科 ■ 耳鼻咽喉・頭頸部外科 放射線部(X線撮影・透視・CT・MRI) ■ 消化管外科 ■ 高度生殖医療センター ■ 形成外科 ■ 脳神経内科 麻酔科(ペインクリニック・統合医療・鍼灸) ■ 小児科 ■ 脳神経外科 ■ 乳腺センター 漢方医学センター ■ 産科婦人科 ■ 呼吸器外科 ■ 放射線科
1F	総合サポートセンター ■ 臨床研究開発センター ■ ローソン ■ 認知症センター ■ ドトール ■ 各種受付 放射線治療 ■ リハビリテーション部 ■ IR検査室 ■ 小児・AYAがん ■ ATMコーナー 栄養指導室 ■ 持参薬管理室 ■ 臓器移植センター ■ トータルケアセンター ■ リボンスハウス

1F 外来診療棟フロア案内



A くつろぎ・憩いのコーナー

B 美容室

C 理容室

D 医療売店



E 休憩コーナー(ウッドデッキ)



F ドトール



G ローソン



H ATM



I 休憩コーナー

J 総合サポートセンター

敷地及び建物面積

Campus and Buildings

建物配置図

Campus Map

大学院医学系研究科・医学部

敷地面積／51,143㎡ 建物面積／33,305㎡ (令和6年5月1日現在)

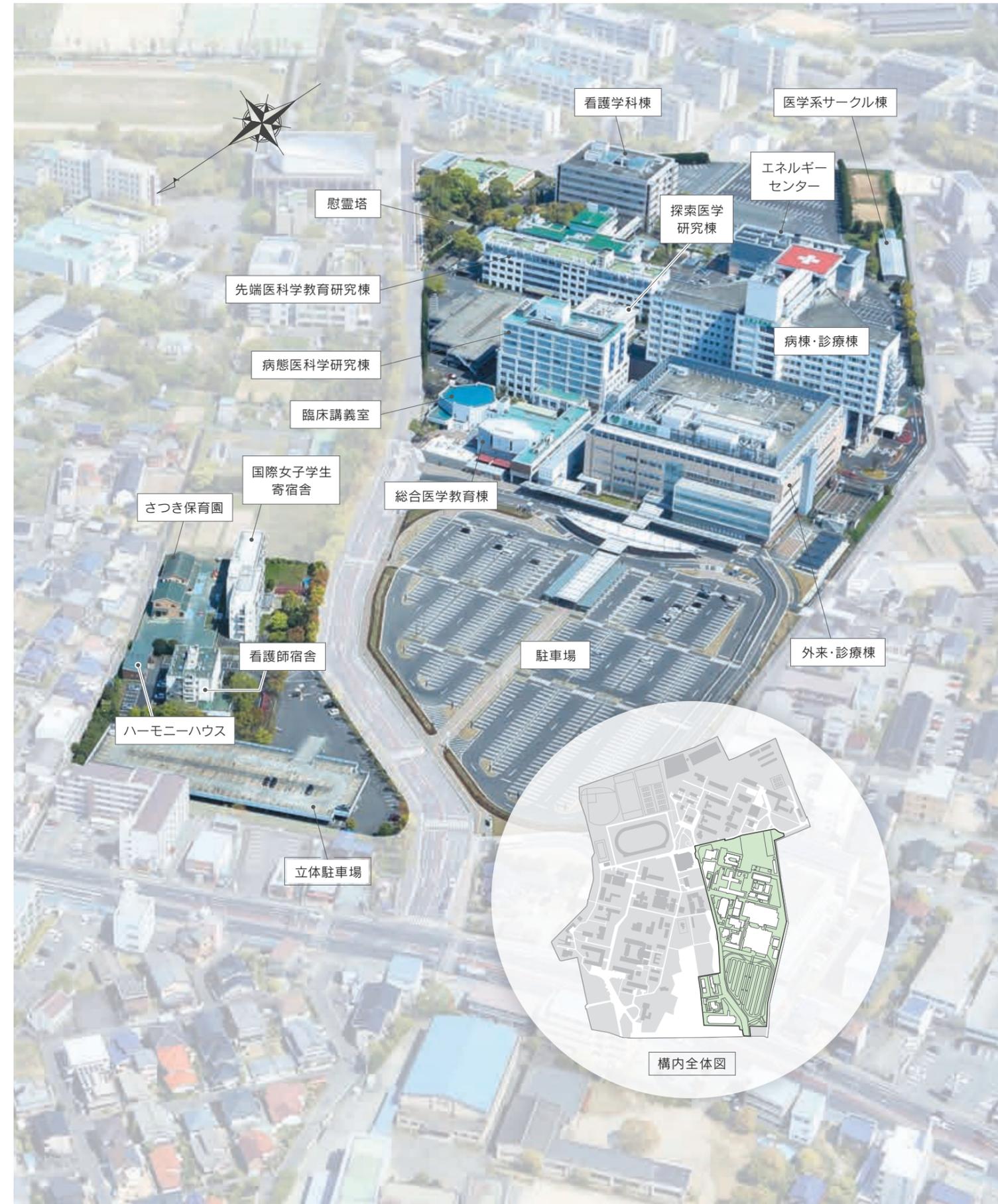
名称	構造	面積(㎡)	建築年月日
先端医科学教育研究棟(基礎医学校舎)	RC-5	9,139	昭和45.12.15
多用途棟	S-1	288	昭和45.12.15
変電室	S-1	150	昭和45.12.15
医学系サークル棟	S-1	389	昭和46. 3.31
総合医学教育棟	RC-2	2,130	昭和48. 4.30
探索医学研究棟	RC-3	3,229	昭和49. 8.31
乾燥室	B-1	41	昭和50. 2.28
病態医科学研究棟	SRC-9	9,804	昭和50.12.25
臨床講義室	R-2	621	昭和55. 3.31
看護学科棟	SRC-6	7,056	平成12.11.16
医療技術棟	S-1	156	平成15
渡り廊下	—	186	—
その他	—	89	—
計		33,278	

医学部附属病院

敷地面積／68,593㎡ 建物面積／82,326㎡ (令和5年5月1日現在)

名称	構造	面積(㎡)	建築年月日
看護師宿舎	RC-4	1,323	昭和50. 7.26
臨床研究開発センター	S-2	224	平成21. 7. 6
保育園(別棟含む)	W-2(S-1)	673	令和 4. 3.29
エネルギーセンター	R-3	2,480	平成22.12.28
病棟・診療棟	SRC-12	40,650	平成23. 6.30
外来・診療棟	RC-5	28,361	平成26.12
感染症危機管理センター	S-2	195	令和 3.10.29
ハーモニーハウス	W-1	113	平成26
管理施設	—	1,296	—
立体駐車場(2箇所)	—	7,062	—
駐車整理券事務所	S-1	87	平成29. 7.31
その他	—	76	—
計		82,540	

【病院その他建物】井水プラント内3棟 【医学部その他建物】(125)車庫、(127)危険物倉庫、(130)ポンプ庫



所在地・アクセス

Location and Access

三重大学大学院 医学系研究科・医学部

<https://www.medic.mie-u.ac.jp>



三重大学医学部 看護学科

<https://www.medic.mie-u.ac.jp/nur/>



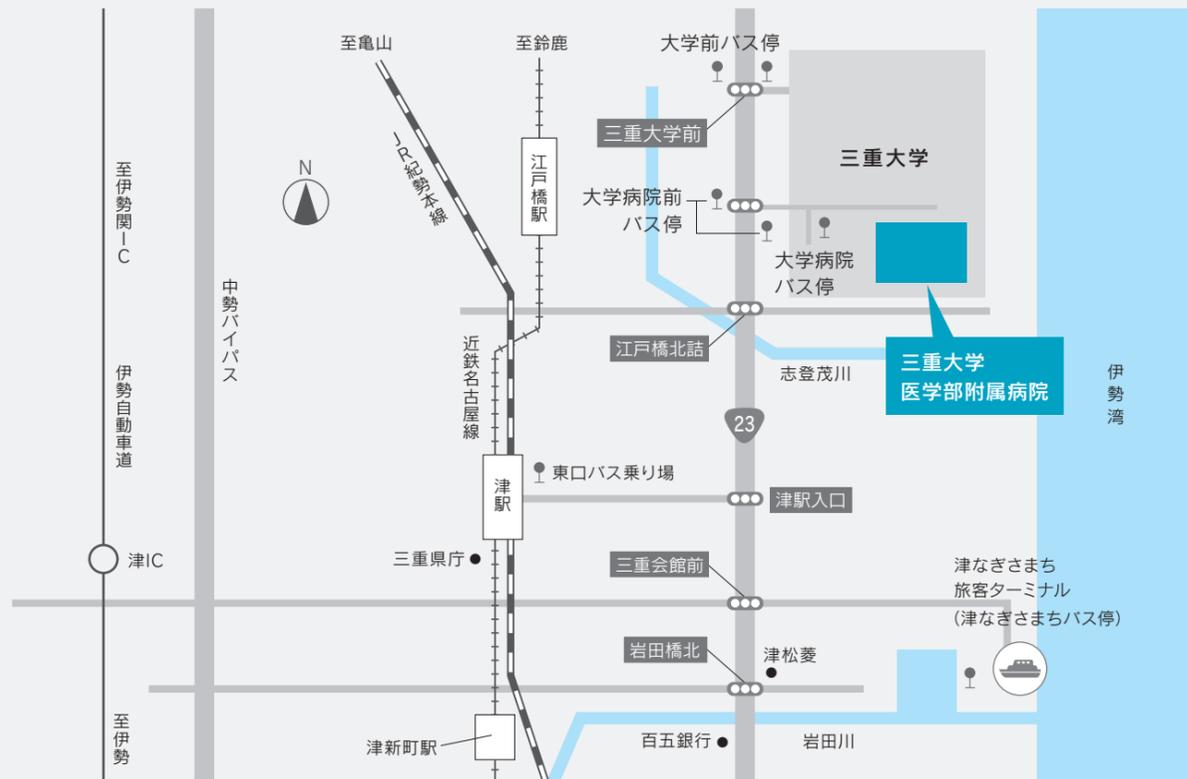
三重大学医学部附属病院

<https://www.hosp.mie-u.ac.jp>



所在地・連絡先 〒514-8507 三重県津市江戸橋二丁目174番地 TEL 059-232-1111

[周辺案内図・交通のご案内]



近鉄電車「急行」で

名古屋より	近鉄名古屋駅	約60分	江戶橋駅	徒歩 約15分
京都・大阪より	伊勢中川駅	約15分		

近鉄電車「特急」で

名古屋より	近鉄名古屋駅	約50分	津駅	バス・ タクシー 約15分
大阪より	大阪難波駅	約90分		
京都より	京都駅	約110分		

JR「快速みえ」で

名古屋より	JR名古屋駅	約50分
-------	--------	------

近鉄・JR「津駅」から

- 津駅東口バスのりば「4番」から三重交通バスで、「大学病院」(93系統)、「白塚駅」(06系統)行きの一部で、「大学病院」下車
- 津駅東口バスのりば「4番」から三重交通バスで、「白塚駅」(06系統)、「千里駅」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「椋本(むくもと)」(52系統)、「豊が丘」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「大学病院前」下車
- 津駅からタクシーで約10分。

近鉄「江戸橋駅」から

徒歩で約15分(江戸橋駅にはタクシー乗り場はありません)。

中部国際空港(セントレア)から

- 津エアポートライン(船)で津なぎさまちへ40分
- 「津なぎさまち」から三重交通バスで「津駅前」まで約15分
 - 「津なぎさまち」からタクシーで三重大学まで約15分

Photo Gallery 2024

三重大学病院 フォトギャラリー



待合

エントランス

スタッフステーション

小児外来



感染症危機管理センター

磁気共鳴診断装置

放射線治療室

ドクターヘリ



ハイブリッド手術室

病棟

手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」

国立大学法人 三重大学

大学院医学系研究科・医学部 医学部附属病院

概要(令和6年度/2024)

発行日/2024年8月

発行者/国立大学法人 三重大学

大学院医学系研究科・医学部 医学部附属病院

〒514-8507 三重県津市江戸橋二丁目174番地

O U T L I N E 2 0 2 4



三重大学シンボルマーク



三重大学病院シンボルマーク



三重大学病院キャラクター
ミーベとミッピ